

## これからの情報通信システムのトレンドは モバイルコンピューティング

Mobile Computing to Play Leading Role in  
Information and Communication Fields



奥山 一幸  
OKUYAMA Kazuyuki

時代は今、インターネットや Java<sup>(注)</sup>などの技術によりシステムのTCO (Total Cost of Ownership) を削減し、情報共有などの問題の解決を旨とした、いわゆるネットワークコンピューティングへと大きく変化をみせています。この流れの中で企業活動の効率向上が叫ばれ、特に“オフィス空間の拡大”はビジネスサイクルの短縮をねらう企業にとっては最重要課題であり、これを実現するためのキーワードがモバイルコンピューティングです。一方、パソコンの普及は一般消費者も個人としての情報システムの利用を促進させ、ネットワークインフラの整備と合わせて、モバイルコンピューティングはまさに個人および社会・家庭を含めた“いつでも、どこでもコンピューティング”を実現するための必須(す)のテクノロジーとなってきます。

従来のモバイルは、単なる携帯用情報機器の利用が中心でしたが、最近は無線環境での利用にまでその範囲は広がっています。さらに、人の便宜を優先させたシステム環境も必要で、今までの機器中心のシステムから人間中心のシステムへと、モバイルコンピューティングの概念は拡張されるべきです。これは、機器の移動に加えて、機器を持たずに手ぶらで人だけが移動しても、ふだん使っている情報システムに簡単にアクセスできることを意味します。また、機器の紛失などによる情報漏えい対策としても“人の認識”は重要です。

モバイルコンピューティングの一般家庭への普及には、企業に比べてより簡単な管理の仕組み、情報家電を含めた将来の家庭情報システムとのリンク、放送との融合や情報コンテンツサービスの提供などが必須です。当社は、情報・通信・放送、家電機器に加え、情報サービスについても取組みを始めており、総合電機メーカーとしてその普及に十分貢献できると考えています。

モバイルコンピューティングの実現には技術だけでなく仕組みも含めた標準化が重要で、当社はMNCRS (Mobile Network Computer Reference Specification) 標準の策定やモバイルコンピューティング推進協議会 (MCPC: Mobile Computing Promotion Consortium) の活動でも中心的な役割を果たしています。このところ、情報システム分野では欧米主導が続いていますが、モバイルシステムでは日本が先行しており、久しぶりに日本から発信できる技術としても期待されています。

(注) Java は、米国 Sun Microsystems 社の商標。